

気仙沼高等学校地域社会研究学年発表会に参加しました(2017/1/28)

テーマ：スーパーグローバルハイスクール，防災教育
場所：宮城県気仙沼高等学校（宮城県気仙沼市）

1月28日（土）に，宮城県気仙沼高等学校にて「平成28年宮城県気仙沼高等学校 地域社会研究 学年発表会」が行われした。同校は，スーパーグローバルハイスクール（SGH）の指定校の一つになっています。SGHは，文部科学省の事業で，高等学校等におけるグローバル・リーダー育成に資する教育を通して，生徒の社会課題に対する関心と深い教養，コミュニケーション能力，問題解決力等の国際的素養を身に付け，国際的に活躍できるグローバル・リーダーの育成を図ることを目的としているものです。気仙沼高校は，「海を素材とするグローバルリテラシー育成～東日本大震災を乗り越える人材をめざして～」というプログラム名で，SGH事業に採択されています。今回の発表会は，SGHプログラムで実施されている「地域課題研究」の一環での訪問になります。「地域課題研究」は，同校1年生が3～5名のグループになり，プログラムに関連する任意のテーマについて研究・発表を行ったものです。佐藤翔輔助教（情報管理・社会連携部門）が，同プログラムのアドバイザーになっており，「海と防災」をテーマとする18班の審査員をつとめました。発表は同校体育館にて，ポスター形式で行われました。レベルの高い研究・発表があり，他の審査員や一般参加の大人達の高い関心を集めていました。



発表会場の様子



発表の様子

文責：佐藤翔輔（情報管理・社会連携部門）